

# ～大町ダム発表資料の訂正について～

平成25年10月15日に大町ダムホームページで公表しました、「高瀬川の「瀬切れ」解消のため大町ダムから5回目の「追加放流」を実施しました！」につきまして、一部表記に誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。また、12月初旬に配布しました「ダムの風だより 59号」についても同様の誤りがありましたので訂正いたします。大変申し訳ありませんでした。

## 高瀬川の「瀬切れ」解消のため 大町ダムから5回目の「追加放流」を実施しました！

大町ダムでは、10月12日に高瀬川において「瀬切れ」を確認したため、ダムから12日7時00分より、通常放流量に追加して水を流す「追加放流(※イメージは下記図を参照)」を開始し、15日9時00分に終了しました。  
追加放流は今回で5回目です。

### 1. 経過

8月29日～30日	毎秒2.0m <sup>3</sup> の追加放流を実施 追加放流量:約12万m <sup>3</sup>
10月2日～3日	毎秒2.0m <sup>3</sup> の追加放流を実施 追加放流量:約18万m <sup>3</sup>
10月8日～9日	毎秒0.5m <sup>3</sup> の追加放流を実施 追加放流量:約3万m <sup>3</sup>
10月10日～11日	毎秒0.5～2.0m <sup>3</sup> の追加放流を実施 追加放流量:約5万m <sup>3</sup>
10月12日 7:00	瀬切れ発生を確認、 毎秒3.0m <sup>3</sup> の追加放流を開始 以後、毎秒0.5m <sup>3</sup> ～3.0m <sup>3</sup> の追加放流を実施
10月15日 9:00	高瀬川の水位回復を確認したため、追加放流を終 今回の追加放流量:約33万m <sup>3</sup>

※これまでの追加放流量累計:約71万m<sup>3</sup>

※瀬切れとは、川の流れが途中で途切れてしまう現象です。川本来の「流れ」をなくし、川の一部が途切れることにより魚類等の高瀬川に棲む生物に大きな影響を与えます。

10月15日ホームページ掲載記事

(誤) 今回の追加放流量:約33万m<sup>3</sup>



(正) 今回の追加放流量:約22万m<sup>3</sup>

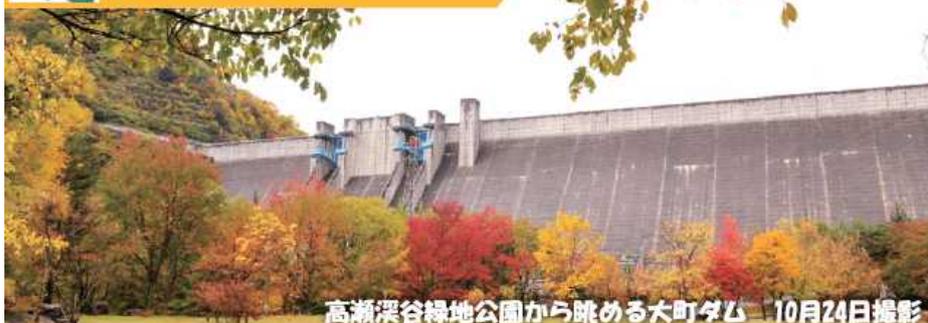
(誤) これまでの追加放流量計:約71万m<sup>3</sup>



(正) これまでの追加放流量計:約60万m<sup>3</sup>



ダムの風だより 59号



## 高瀬川の瀬切れ対策状況

大町ダムでは高瀬川の川の流れを常に監視し、瀬切れが発生又は発生の恐れがある場合には、ダムからの放流量を多くする(追加放流)ことで瀬切れから高瀬川を守っています。

【平成25年の追加放流実績 (11月1日時点)】

追加放流:5回実施

累計放流量:約71万m<sup>3</sup>

※東京ドーム約0.5杯分

## 追加放流のイメージ

瀬切れ発生

水量が回復

(誤) 累計放流量:約71万m<sup>3</sup>



(正) 累計放流量:約60万m<sup>3</sup>